

図書館ひろば



第9回「図書館ひろば」開催

2017年11月26日、「第9回図書館ひろば」が市立図書館を会場に盛況のうちに終了しました。

2回目を迎えた古本市は、昨年にも増して多くの来場者があり、開場前に長い行列ができました。初めての企画であった講談も、根強いファンのおかげで盛り上がりました。また今年は、新しい図書館の計画が具体化したことを受けて、新しい図書館について考える展示をしました。関心を持った方々が足を止

めて見てくださいました。その他、恒例の「おはなしワニーズ」さんの布絵本・布おもちゃとお話し会、「録音奉仕会ひばり」「点訳赤十字奉仕団」「拡大写本赤十字奉仕団」による体験コーナー、「本の修繕ボランティア」の方々による実演と、たくさんの方に楽しんでいただきました。

ご参加くださったみなさま、ご協力いただいた参加団体のみなさま、ありがとうございました。



「図書館ひろば」を終えて

録音奉仕会ひばり

以下の3点を中心に、体験コーナーを開催

- ・パソコン録音で音声訳体験
- ・視覚障がい者が利用しているCDを試聴
- ・録音奉仕会の活動紹介

親子連れのお父さんが熱心で子供達に色々と体験させていたのが微笑ましく、嬉しかったです。来年はもっと中集会室に足を運んでもらえるよう、皆でアイデアを出し合いたいと思います。

点訳赤十字奉仕団

体験コーナーへの参加者は、相変わらず少なく残念でしたが大人向け・幼児向けのコーナーにはそれなりの参加だったようです。年齢層の片寄りがあるように思いました。小学生の参加を促す対策を考えたほうがいいように思いました。

拡大写本赤十字奉仕団

秋晴れの日曜日、昨年より展示物を多くし拡大写本の体験もできるようにコーナーを準備して臨みました。まだまだ知られていない拡大写本を一人でも多くの方に知っていただき、弱視の方々に読書を楽しんでいただけたら私達ボランティアも嬉しく思います。

はじめての「講談」

タツ、タツ、タツと畳みかけるような調子で物語を「読む」。何とも心地よい調子の良さ。思わず引き込まれて、笑いが出る、涙が出る。河津琴趙さんをお迎えして、初めての講談。往年の講談ファンのほか、若い方も混じって、盛況でした。

シン☆図書館(展示)

アンケートに沢山ご意見をいただきました。ありがとうございました。みんなで見守っていきましょう。

おはなしワニーズ

参加者は、例年より多く、特に午後のおはなし会にはお父さんと一緒に楽しむ笑顔が集まりました。また、恐竜・ままごと遊びが人気でした。最近訪問したA児童クラブの女子が、お母さんを連れて来て、おはなし会や布おもちゃ遊びをゆっくり楽しんで行かれました。許諾を得て制作した布えほん「きんぎょがにげた」の金魚が逃げて行方不明に！小さいパーツも無くなると困りますが、「だれのかな？」のお池の中で泳いでいました。子どもの発想は楽しいです。

古本市 報告

寄付された本の冊数 3119冊

来場者数 216人

持ち帰り冊数 1650冊

寄付金合計 25984円

相模原市へ全額寄付させていただきました
ご協力ありがとうございました。



社会教育研究全国集会の実行委員としてかけめけた「極上の2017年！」

社会教育推進全国協議会会員 つなぐ会会員 渡邊健一

2017年8月26～28日、相模女子大学をメイン会場に、社全協が主催する第57回社会教育研究全国集会(神奈川集会)が開催された。集会では、2日目に図書館や博物館などの分野別に18もの分科会があり、3日目は、やまゆり園事件から考える人権学習、公民館での防災学習など5つの「課題別学習会」が行われたのが特徴的である。すべて参加者の手弁当で手作りされ、残暑の中を初日の全体会・交流会を合わせ、総勢530人超が集った学び大き盛況の集会となった。

《音声読み上げPCが校正にも一役!?》

私はこの集会の実行委員となり、「地域と学校」の分科会の世話人を担った。思えば、ユニコムプラザで準備会が行われた前年6月から関わり早1年半。正式に「神奈川実行委員会」始動後は、実行委員でなければ経験できないめまぐるしい内外との調整業務の連続。分科会の企画づくりも本格化した4月以降は、ほぼ毎週の会議への出席と会議の議事録の作成サポート(校正作業)、そして各方面へのPR活動を勇んで担当した。

全盲の私は、普段ネット情報やWordなどの活字処理には、PC等の画面を音声読み上げするソフトを使用している。会議録や基調原稿の校正でも、この音声ソフトが活躍！読みの正確さがグレードアップしている音声による“眠い目を覚まさせる効果”も手伝ってか、夜を徹しての長時間の校正・執筆を行えたことは幸いだった。晴眼者(目の見える健常者のこと)だと校正作業には目を酷使するため、私のささやかな雑務が(少なからず運営に貢献できて…)重宝されたのには感慨深い。

《学び合い・支え合いのコミュニティ》

一方、学生の実行委員メンバーが通う東海

大学湘南キャンパスでのミーティングへも足を運んだ。全体会で司会者と基調提案の朗読をしてくれた東海大広報メディア学科の学生(アナウンサーor声優のタマゴの逸材たち)との“声のスペシャリストを囲んだ語り”を、さし入れたガリガリクン片手に交わしたのは印象的だ。1日がかりの分科会で私は、司会者と“鼎談者”を兼務し、記録係も同僚の世話人と交互に分担した。自然と参加者同士の“学び合い・支え合いのコミュニティ”がつくられた。準備段階から終了後の振り返りの活動にまで汗をかいた、多くの方々との“極上の2017年”は、私の大きな財産である。《点字楽譜&鼎談etc.！》

わが「つなぐ会」からも、分科会で報告者として友情出演があり心強かった。中塚さんからの、夏季期間中の図書館での調べ学習講座の実践報告には参加者一同聞き入り、活発な討議ができ、ホスト役冥利に尽きる望外の喜びだった。身体障害当事者の立場から地域と学校で福祉教育を実践する3名の鼎談では、全盲のピアニスト木村さん愛用の「点字楽譜の実物」に皆感動！言語障害で電動車いすユーザーの秋山さんが重ねてきた授業資料と生徒たちの感想文集の束にも驚嘆。私が実践中の体験学習の「指導案」も回覧いただいた。木村さんからの「壁は回り込めるもの」、秋山さんの「市内109校ある全校を授業で回るのが夢！願望」との熱弁に、全参加者は魅了された。参加ご協力いただいたすべての方々から心から感謝したい。今後も、社会教育法の第九条でいう「社会教育のための機関」でもある図書館の愛好家の方々の活動にも、活かされる集会になるよう見守っていきたい。

学校図書館学習会 報告

10月14日、サンエールさがみはらにて、第6回「聞いて！学校図書館のこと」学校図書館を考える学習会が開催されました。最初に2名から話題提供をしていただきました。

LCA 国際小学校図書館学校司書の鈴木さんからは、洋書のデータ登録を「認定NPO法人らいぶらいぶ」が請け負ったことをきっかけにLCA 国際小学校の学校司書になられた経緯や、LCA 学校図書館の基本情報、子どもたちにとって居心地のよい図書館づくりの実践について報告してくださいました。学校図書館のようすをパワーポイントで見せてくださったので、鈴木さんが「誰にどう見せるか」を大事に環境づくりされていることが伝わってきました。

つなぐ会の会員で視覚障害当事者の渡邊さんは、相模原市内の福祉体験授業で講師として活動した時のようすを報告してくださいました。中途失明されたかたは点字を難しく思っていることなど、貴重なお話が聞けました。また、ディズニーランドの点字入り触地図や弱視者にも読んでもらえるよう22ポイントの文字で作られた大活字本、それに点字絵本を、実際に手に取ってみることもできました。

次に、校種別のグループに分かれ、「使いやすい館内整備」を考えました。勤務校で使用しているサイン、棚見出し、本の展示などの写真、実物を持ち寄り、それを見せ合いなが

ら、利用者が使いやすいと思えるための図書館の必要条件をグループで考えていきました。

休憩後は、情報資源を「新聞・雑誌」「紙芝居・パネルシアター」「パンフレット・地域資料」「視聴覚資料」の4つに分け、保管・整理方法を各グループで考えました。他市町村の学校司書のさまざまな実践や意見交換は、とても刺激的でした。

ご参加くださいましたみなさま、ありがとうございました。

「淵野辺駅南口における公共施設の再整備とまちづくり」のワークショップに参加して

1回目は12月3日(日)淵野辺南口地区の集約・複合化についての説明後、4グループに分かれ、青少年学習センター以外の5施設を見学しました。その後「どんな場所だったか」、今後「どんな場所にしたいか」意見を出しあいました。2回目は12月17日(日)大和市の図書館等の複合施設の最新事例の紹介後、それに基づき、これからの複合施設への期待と課題両面から意見を出し合いました。地元の方の熱い思いや地域の歴史を知ることが出来てよかったですが、現実としての市の予算や作成案などの披瀝がなく、夫々の希望や心配を述べている状態なので、3回目にもどのように活かされるのでしょうか。最終回は、2018年1月13日(日)です。

編集後記

今年の「図書館ひろば」では、淵野辺駅南口における公共施設の再整備とまちづくりでの新しい図書館について、「シン・ゴジラ」を真似て「シン☆図書館」と銘打って展示を行いました。参加者アンケートにも多くのご意見をいただき、みなさんの関心の高さが伺えました。今後の動向を見守ってまいります。(Y.N)

図書館ひろば 第18号 2017年12月30日発行

〒252-0302 相模原市南区上鶴間4-23-3 Tel 090-4947-7147 (代表 山本)

Email info@toshokan.org ホームページ <http://toshokan.org/>